C

CD ／ MP3 ／ WMA を聞く

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

CDモードTOP画面(詳細表示時(例))

MP3モードTOP画面(詳細表示時(例))

① **Sound ボタン**
イコライザー画面を表示します。
☞ A-31

② **♪ ボタン(詳細情報)**
トラックの詳細情報を表示します。
☞ C-3

③ **☰ ボタン(トラックリスト)**
トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。☞ C-5

④ **●録音 ボタン**
録音開始画面を表示します。
☞ B-6

⑤ **再生モード ボタン**
リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。
☞ A-14

⑥ **オンライン検索 ボタン**
オンラインのGracenote音楽認識サービスからCDのタイトル情報を取得することができます。
☞ C-6

⑦ **Quick ボタン**
Quick MENUを使用することができます。
☞ N-2

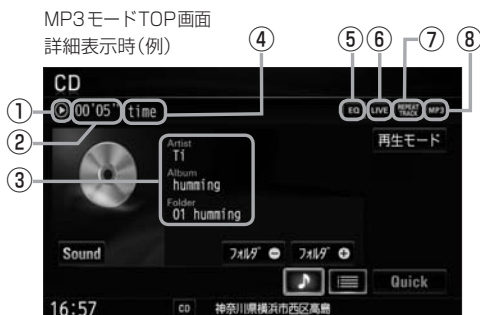
⑧ **フォルダ⊖ ／ フォルダ⊕ ボタン**
前または次のフォルダを選択します。
☞ C-4

アドバイス

- 録音(REC)中は画面に 録音中止 が表示されます。タッチすると録音(REC)を中止します。
- 1枚のディスクに音楽トラックとMP3／WMAデータが混在する場合はMP3／WMAデータは再生しません。
- パネル部に配置されているボタンにつきましては☞ A-2を参照ください。

表示部(再生画面)について

CDモードTOP画面
詳細表示時(例)

MP3モードTOP画面
詳細表示時(例)

Bluetooth対応携帯電話が登録／接続されている場合に表示されます。

①再生状態表示
▶：通常再生　▶▶：早送り　◀◀：早戻し

②再生時間表示

③アーティスト名表示／アルバム名表示／ジャンル名表示(＊1)
アーティスト名表示／アルバム名表示／フォルダ名表示(＊2)
＊1印…CDモードの場合
＊2印…MP3／WMAモードの場合

④トラック名表示(＊3)
＊3印…トラック名がない場合は、ファイル名を表示します。(MP3／WMAの場合)

⑤イコライザー表示
イコライザー設定中に表示されます。☞ A-31

⑥サラウンド表示
選択中のサラウンドを表示します。☞ A-34

⑦リピート／ランダム／スキャン再生時に表示
表示内容につきましてはA-14を参照ください。

⑧再生モード表示
MP3 …MP3モード／ WMA …WMAモード

アドバイス

- アーティスト名／トラック名／アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(＊1)
  (本機は漢字・ひらがな・カタカナ対応しています。)
- ファイル名／フォルダ名の最大表示文字数は全角32(半角32)文字です。(＊2)
  ※ファイルによっては最大文字数まで表示できない場合があります。
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- DISC内のCD-TEXT情報と、Gracenoteデータベースの検索結果によって再生時の表示は以下の様になります。
  ・DISCにCD-TEXT情報があれば、アーティスト名／トラック名／アルバム名はCD-TEXTが優先して表示されます。ジャンルは空欄となります。
  ・CD-TEXTが無い場合でGracenoteデータベースにヒットしている場合は、Gracenoteデータベースのアーティスト名／トラック名／アルバム名／ジャンル名が表示されます。
  ・DISCにCD-TEXTも無くGracenoteデータベースにもヒットしなければ、トラック名／アーティスト名／アルバム名は全て“No Title”と表示されます。
  ・本機へ録音(REC)されるタイトル情報はGracenoteデータベースにヒットしている場合のみであり、CD-TEXT情報は反映されません。
  ・CD再生中のリスト表示はGracenoteデータベースにヒットしている場合にトラック名がリスト表示されます。DISCにCD-TEXTがある場合はCD-TEXTが優先してリスト表示されます。どちらの情報もない場合はトラック名に全て“TRACK1…”と表示され、タイトル表示されません。
  ※市販されている音楽CDの大多数にはCD-TEXT情報は入っていません。
- アーティスト名／トラック名／アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。

未録音CDを挿入すると・・・

※CDモードの場合

本機に１曲も録音していない音楽CDを挿入すると、再生と同時にMUSIC STOCKER PROへ全曲の録音を開始します。「未録音CDについて」B-5
※録音方法が自動録音に設定されている場合です。

録音を停止したい場合は、
録音中止 をタッチしてください。

アドバイス

- MUSIC STOCKER PROに録音すれば車内がCDであふれることもなく、ディスクの交換の手間も省け便利です。MUSIC STOCKER PROへ録音した曲は、再生選択や削除などの編集も可能です。
  「アルバムリストの編集(曲管理)」H-14

※MUSIC STOCKER PROにつきましては「MUSIC STOCKER PROの機能／構成について」B-10／「各部の名称とはたらき」H-2を参照ください。
※音楽CD以外(MP3／WMAなど)は録音(REC)できません。

- 未録音CDが本機に挿入された状態で他のオーディオモードからCDモードにした場合や、CDモードでOFF➡ONにした場合は再度録音が開始されます。(自動録音設定時)
- 自動録音／手動録音は変更することができます。B-4
- 手動録音に設定(B-4)している場合は、CDモードで録音前にオンライン検索でタイトル情報を取得することができます。
- 録音する曲を選択したり、録音音質を変更することができます。
  「CDを録音する」B-6

好きなフォルダを選ぶ (MP3／WMAモードの場合)

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

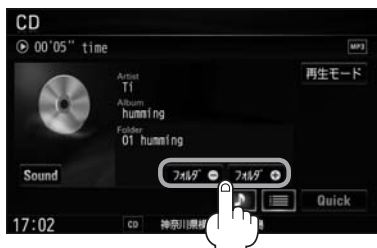
フォルダ⊖ ／ フォルダ⊕ をタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダ⊖ をタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ⊕ をタッチする。

好きなトラックを選ぶ（CD／MP3／WMAモードの場合）

トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1 ［≡］をタッチする。

：トラックリストが表示されます。

※MP3／WMAモードの場合は、再生しているフォルダのファイル(曲)がトラックリストに表示されます。

CDモード TOP画面(詳細表示(例))

アドバイス

TOP画面は選択する［♪］／［≡］によって詳細表示／トラックリスト(ファイル)表示となります。

CDモード TOP画面(例)

詳細表示

［≡］タッチ

［♪］タッチ

CDモード TOP画面(例)

トラックリスト表示

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 1 を省略することができます。

2 再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

CDモード TOP画面(トラックリスト表示時(例))

アドバイス

- ［⏮ ⏭］／［⏮］［⏭］を押してトラックを選択することもできます。☞ A-12
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
  ※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
  ※走行中はスクロールしません。
- CDモード時のトラックリストについて
  ・CD-TEXT情報またはGracenoteデータベースタイトル情報が表示されます。
  ・タイトル情報がない場合は、TRACK1、TRACK2、TRACK3……と表示されます。
  ・TOP画面を詳細表示に戻したい場合は［♪］をタッチしてください。(上記アドバイス参照)

C-6 オンライン検索をする

※CDモードの場合

Gracenoteデータベースにヒットしない新譜などのアルバムや、異なったタイトル情報が検索されたアルバムの情報を、携帯電話を使用してGracenote音楽認識サービスより個別に取得できます。

※オンライン検索をするにはBluetooth対応の携帯電話を本機にハンズフリー登録のうえ、電話1に設定し、接続しておく必要があります。

「携帯電話を登録する」M-2／「携帯電話の割り当てを切り替える」M-8

BluetoothおよびBluetoothロゴは、米国Bluetooth SIG. Incの登録商標です。

1 オンライン検索 をタッチする。

2 オンライン検索するかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチする。

：携帯電話を利用したデータ通信(接続)を開始します。

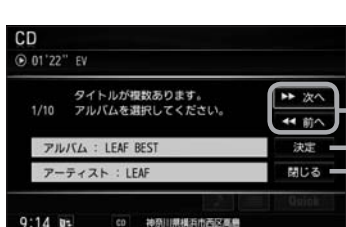
※オンライン検索を止める場合は いいえ をタッチしてください。

※接続に成功するとGracenote音楽認識サービス(サイト)より、タイトル情報を取得します。

※取得を止める場合は、メッセージ表示中に 中止 をタッチしてください。(タイトル情報更新中 中止 は選択できません。)

：今までの情報は正しいタイトル情報に上書きされます。

アドバイス

- オンライン検索中にBluetooth Audioや通話などを行なった場合、検索に失敗する場合があります。
- マニュアル設定にてAPNを使用する接続設定変更を行なった場合、検索に失敗する場合があります。携帯電話に登録されているAPNを確認し、必要なAPN設定先を確保してください。☞ M-32
- 以下の場合は、オンライン検索は使用できません。
  - ・使用する携帯電話の圏外に車が移動したとき
  - ・トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- オンライン検索をする際には、通信料金（パケット料金）がかかります。また、通信事業者によってはインターネット接続サービス利用料金が請求される場合があります。詳しくは各通信事業者へご確認ください。
- 情報のデータ量や電波状況によっては、情報の取得に時間がかかる場合があります。
- 情報の取得が終了すると、通信回線は自動的に切断されます。
- 情報取得中に通信が途切れた場合は、再度データを取得していただくことになります。通信が中断された場合でも、携帯電話の通信・通話料金は加算されます。
- 必ずしも正しいタイトル情報が表示されるわけではありません。該当する情報が取得できない場合もあります。
- 携帯電話にはご利用になれない機種があります。適合携帯電話機種につきましては、「日産販売会社」または「日産自動車株式会社お客さま相談室」へお問い合わせください。☞ 本書最終ページ参照
- ☆印…タイトル情報が複数ある場合は、お好きなアルバムを選択することができます。

1
次へ ／ 前へ をタッチして次のアルバムを表示させることができます。

2
選択するアルバムが決まったら 決定 をタッチします。

閉じる をタッチするとCDモードTOP画面に戻ります。

※タイトル情報が複数ある場合は、取得した複数タイトルの通信料金（パケット料金）がかかります。

- オンライン検索について

Bluetooth対応携帯電話が登録／接続されている場合にアイコンが表示され オンライン検索 を選択することができます。

C-8

MP3 ／ WMA ファイルについて

● MP3とは？

MP3（MPEG Audio Layer 3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、CDデータに比べ最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

・MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

● WMAとは？

WMA（Windows Media™ Audio）は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率（約2倍）で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

DRM（デジタル著作権管理）には対応していません。
Windows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。

● トラック名／アーティスト名／アルバム名表示について

曲のタイトル、アーティスト名などをID3タグ（MP3用）やWMAタグと呼ばれる付属文字情報を使って保存、表示させることができます。

● CD-R ／ CD-RWについて

・CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。

・一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。
※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

● **MP3 ／ WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。**

● マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3 ／ WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

アドバイス

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3 ／ WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。（再生しません。）
- MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル／ WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3 ／ WMAファイル以外に、“MP3”／“WMA”の拡張子を付けないでください。
  MP3 ／ WMA以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

● MP3／WMAの音楽ファイルはMP3／WMA／SD／USBモードで再生することができます。（下記☆印参照）

● 音楽ファイルMP3/WMAの規格について

使用可能なメディア☆	CD-R、CD-RW DVD±R、DVD±RW	SDカード、 SDHCカード	USBフラッシュメモリ
再生モード☆	MP3/WMAモード	SD／AV STOCKER モード	USBモード
再生可能なMP3/ WMAファイルの規格	・MP3・・・MPEG Audio Layer 3 ・WMA・・・Windows Media Audio ※m3u ／ MP3i フォーマット／ MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。 ※WMA9 Professional／WMA9 Losslessには対応していません。 ※2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。		
再生可能なMP3/WMA ファイルの拡張子	MP3、mp3、WMA、wma（大文字、小文字どちらでも使用可能）		
使用できるメディア フォーマット	拡張フォーマットを除いた ISO9660レベル1およびレベル2 ※パケットライトには対応していません。	FAT16／FAT32	
最大フォルダ名／ ファイル名文字数	全角32／半角32文字	全角32／半角64文字	
フォルダ名／ファイル名 使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)		
最大フォルダ階層	8階層		
1フォルダ内の 最大ファイル数	255(ファイル＋フォルダ数：ルートフォルダ含む)		
1メディア内の 最大ファイル数	999	10,000	
最大フォルダ数	255	400	
表示可能なID3タグ／ WMAタグ	トラック名／アーティスト名／ アルバム名	トラック名／アーティスト名／アルバム名／ ジャンル名	
ID3タグ表示可能文 字数	Ver 1.0/1.1：全角15/半角30文字 Ver 2.2/2.3：全角32/半角64文字		
	※ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。		
WMAタグ表示可能 文字数	全角32/半角32文字	全角32/半角64文字	
ID3タグ／WMAタグ 推奨文字コード	シフトJIS		
ジャケット写真	非対応	対応*	

※著作権保護されたWMAは再生できません。

＊印・・・MP3／WMAファイルのジャケット写真表示につきましては、☞ E-12＊印を参照してください。

MP3／WMAファイルについて

● 再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数(kHz)		
16.000	−	○
22.050	−	○
24.000	−	○
32.000	○	−
44.100	○	−
48.000	○	−
ビットレート(kbps)		
8	−	○
16	−	○
24	−	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	−	○
160	○	○
192	○	−
224	○	−
256	○	−
320	○	−
VBR	○	○

※VBR：可変ビットレート

WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数(kHz)		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	−	○
ビットレート(kbps)		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	−	○
320	−	○
VBR	−	○

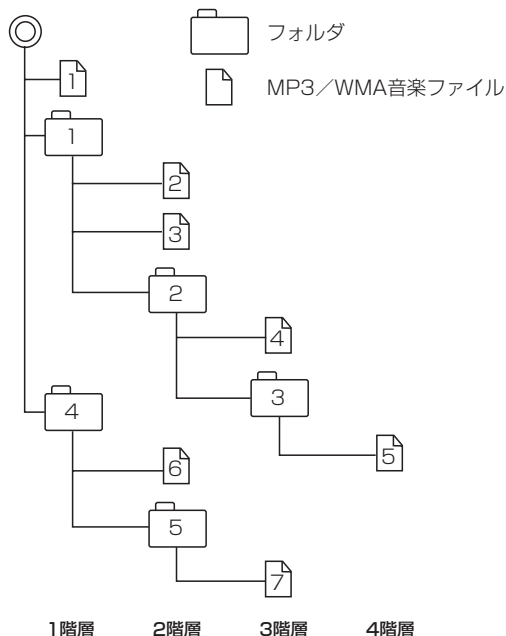
※VBR：可変ビットレート

- 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

- 64kbps以下のビットレートで記録されたMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

- 一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- VBR(可変ビットレート)に対応しています。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

MP3／WMAファイルについて

● **階層と再生順序について**

〔以下はCDのMP3／WMAのみ〕

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- 同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、1→2→3→4→5→6→7の順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

● MP3／WMAファイルの作り方について
MP3／WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

・**インターネットの配信サイトより入手する場合**
インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

・**音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する場合**
パソコンと市販のMP3／WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります）。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3／WMA形式のファイルに変換することで12cmの音楽CD1枚（最大74分収録／データ容量650 MB）が約65MBのデータ量（約10分の1）になります。（詳しくはエンコーダソフト等の説明をご参照ください。）本機はWMAのDRM（デジタル著作権管理）に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する（Ver.によって表現が異なる場合もあります。）”の項目にチェックを付けないでください。

・**ディスクに書き込む場合**
MP3／WMAファイルをパソコンに接続されているドライブを介してディスクに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

アドバイス

● ディスクの特性により読み取れない場合があります。
● MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
● ディスクにMP3／WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
● MP3／WMAファイルの作成の詳しくはエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
● MP3／WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行なっていないディスクは再生できません。
● 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。